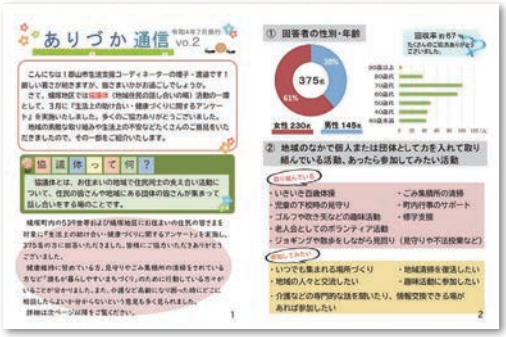
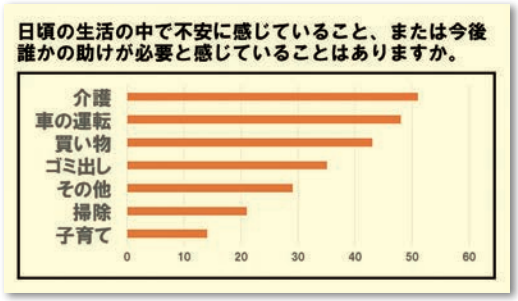
活動レポート

# だれもが得意なことで貢献する地域






愛情たっぷりのおせち作り！
（片平公民館調理室）

蟻塚町内の５３９世帯を
対象にアンケート実施
しました。

## 方向性や活動

蟻塚地区の区長さん、蟻塚地区で活発に活動されている民生委員さんと今後の協議体の方向性について話し合った。

その後、蟻塚地区にお住まいの世帯を対象に「生活上の助け合い・健康づくりに関するアンケート」を実施。

寄せられた様々な意見をもとに、地域の支え合いについて協議体で話し合っていく予定。

## 参加者の声

・地域では、いきいき百歳体操や「ながら見守り」を行っている。
・いつでも集まれる居場所があるといいな。
・介護等の専門的な話を聞いたり、情報交換できる場があれば参加したい。
・今後は、介護や車の運転に不安を感じている。
・困った時に、どこにどう聞けばよいかわからない。
・コロナ禍でコミュニケーションがとりづらくなっている。

## 取り組んでいること

・児童の下校時の見守り
・ジョギングや散歩をしながら見守り
・ごみ集積所の清掃
・町内行事のサポート

## 取り組んでみたいこと

・いつでも集まれる場所づくり
・地域清掃を復活したい
・介護などの専門的な話を聞いたり、情報交換できる場があれば参加したい

アンケート結果を通信で地域住民に報告しました。

近隣の地域とのつながりも大切に、
みんなで手をとり合っています

# ⑯ 片平地区

## 【地区の特徴】

片平町は、郡山市の西部に位置している。

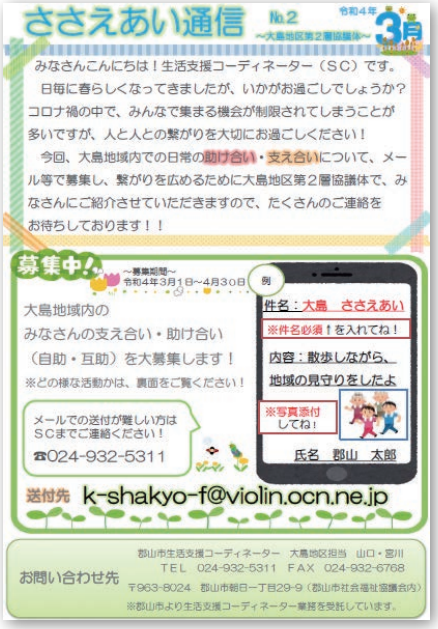
東北自動車道の東側エリアは蟻塚地区などの新興住宅地で、学区は、小山田小学校、富田西小学校、郡山第六中学校となっている。西側エリアは旧来の集落と農業地域で、学区は、片平小学校、片平中学校となっている。

およそ千三百年前の采女・春姫の悲恋物語である采女伝説の発祥の地であり、毎年、うねめまつりの初日に『うねめ供養祭・かめ祭り』を開催している。令和3年は、采女伝説が伝わる奈良市との姉妹都市締結50周年にあたるが、記念事業として、灯籠やろうそくの灯りがともる夕暮れの幻想的な雰囲気の中で、『うねめ供養祭・かめ祭り』をコロナ禍のため、関係者のみで執り行った。

# ⑰ 大島地区

## 人とのつながりを大切に ～柔軟に対応できる地域づくり～

## 一人ひとりの思いがひとつになって、パワー全開







**みんなで 心をひとつに！**





**活動は自分も楽しく みんなで楽しく**

### 【地区の特徴】

郡山市の中心部に位置し、並木1～5丁目、朝日2～3丁目、桑野2～5丁目、下亀田一部、富田町（富田4区）富田町逢瀬川以南を区域として9の町内・自治会・区がある。行政機関・医療機関・商業施設が充実し、郡山市の第二の中心部として発展している。東西南北に、幹線道路があり、交通機関の利便性がよい。

また、中心地ではあるが自然豊かで、地域内には子どもから高齢者まで四季折々を楽しみながら、ゆっくりと時間を過ごすことが出来る公園がある。

### 方向性や活動

地域の方々に協議体の目的についてご理解・ご協力を得ながら、多くの仲間づくりに取り組んでいく。

### 参加者の声

・大島地域は、色々な行事について協力性があり、とても良い地域だ。
高齢者が増加しているため、もっと支援体制が出来れば良い。
・隣組の充実、助け合い活動の実践。
・簡単なことからやっていけば出来るかな・・・。
（あいさつ・近所同士の見守りなど）

# 田村町を繋ぐ助け合いのネットワーク





**認知症になっても安心して暮らせる田村町**

## 方向性や活動



田村町では勉強会時のアンケートより「認知症になっても安心して暮らせる田村町」を掲げて活動をしている。コロナ禍であることから各行政区や体操をされている方々など人数を限定し各地で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への理解を深めた。

また、様々な視点から認知症になっても安心して暮らせる町の話し合いを進める。

## 参加者の声

・地域で認知症について、悩んでいる人がいたら、声を掛けてみたり、相談にのったり、自分ができることを地域の人にしていけたらなぁと思います。
困った時はみんなで助け合っていけるような地域にしていきたい。
・何度聞いても良いし自分の為だけでなく、家族や友人の為にもなる話だと思う。

## 取り組み

・ブロック毎の認知症サポーター養成講座の開催
・交通安全教室の開催




# ⑱ 田村地区

いつでも、なんでも話し合える町
温かい交流、温かい助け合い

## 【地区の特徴】

郡山市の中心市街地から東南に位置し、東から西まで17㎞ある。総面積91.73㎢の約半分を山林・原野が占める自然豊かな地域。

田村町東部は山間部で農業を中心とした生産活動が行われている。田村町西部には工業団地があり、それに伴い住宅や様々な店舗がある。国道49号線沿いには商店も立ち並び住宅街も多くある。

# ⑲ 南地区

住民同士で声をかけあい
見守り活動

活動レポート

## 地域のニーズにあわせた支え合いの活動



サロン活動で
地域の輪が広がる



住み慣れた町で
いつまでも暮らしたいから
～ご近所同士の支え合いに感謝～

### 方向性や活動

これまでは、町内会や民生委員、社会福祉協議会など、地域の中にある各団体が、地域住民に寄り添いそれぞれ活動を行ってきた。

今後は、協議体を通して各種団体間の交流を図り、連携をとりながら活動を充実させ、地域住民に情報を発信していく。





### 参加者の声

・地域で活動している団体の情報共有をする場を持ちたい。
・役員が年度ごとに交代してしまうので、なかなか活動につながりにくい。
・すでに見守りなどの活動をしている町内会もある。そこを参考にして他の町内会でも取り入れていくのはどうか。
・必要に応じて協議体の説明会を実施してほしい。
・認知症サポーター養成講座や助っ人隊養成講座を、開催してほしい。
・通いの場についてもっと知りたい。






### 【地区の特徴】

南地区は、針生地区町内会連合会と南連合町会のエリアを併せた地域で、西はあさか野バイパス、東は内環状線という大きな幹線道路に面した地域のため交通の利便性の良い地域。

地域の集まりに利用されている中央公民館針生分館は、趣味活動の団体が多く利用し、住民の皆さんが交流を深めている。

活動レポート

# 話し合いだけでは終わらせない！ 地域をより良くするための実動部隊

# ⑳ 小原田地区

## 一人ひとりに寄り添った思いやりの活動







第3回 小原田ふれあいの会
方部ごと開催（小原田・昭和・香久山）



小原田地区協議体通信
「小原田ふれあいの会」の発行













地域資源の発掘・取材

## 方向性や活動

小原田地区は小原田・昭和・香久山の３つの方部を合わせた広い地域であり、それぞれに地域性が異なるため、３方部それぞれに合った活動をしていくことも重要ではないかとの意見があった。話し合いの結果、方部や町会といった小単位ごとでの話し合いを進めていき、各方部の進行状況を踏まえたうえで全体会を開催、情報共有をしていく方向で決定した。

各方部の特性や地域における課題を把握しながら、課題解決に向けて「できそうなこと」「やってみたいこと」から取り組みを進めていく。

## 参加者の声

・高齢化している地域もあるため、こういった取り組みは今後必要になってくるのではないか。
・難しく考えることなく、いきいき百歳体操など既存の組織で活動の延長線として話し合うなど、新規で組織は作らず、身近な単位の小地域で話し合いが出来ると良い。
・今まで行ってきたサロンや集まりなどの意義を勉強会で再確認することができた。今後も続けていきたい。
・各団体が高齢者に対することをそれぞれ実施している。それを各団体と連携し更に、事業の充実を図っていくことが求められている。そこをどのようにしていくかの組織を立ち上げ、話し合いを進めていく中で確認し、実行していく必要がある。

## 取り組み

・小原田ふれあいの会の中で、古舘交番防犯協力会による下校時見守り活動の情報が共有され、このことがきっかけとなり小原田自治連合会から子ども見守隊が発足

## 【地区の特徴】

郡山市の南部に位置し、国道49号線及び阿武隈川に挟まれた一角を占める地区で閑静な住宅地である。

江戸時代には、旧奥州街道沿いの宿場町として栄え、現在も当時の『桝形』（直進できないように道路を左右に直角に曲げ、土塁や柵で塀を築いた施設）の面影を残した道路が残っている歴史のある地域。

人口は約8,100人。昭和、小原田、香久山といった離れた地域となっており、それぞれ小地域ごとの活動が活発に行われている。

# ㉑ 緑ケ丘地区

地域団体の絆で繋ぐ福祉の心

## 【地区の特徴】

緑ケ丘地区は郡山市の東側、市街地を臨む高台に位置する閑静な住宅街。

利便性と自然豊かなニュータウンとして造成され、戸建て住宅と公営住宅が混在している。現在は約2,600世帯が暮らしている。

街の中心に幼稚園、保育所、緑ケ丘ふれあいセンター、駐在所、子育て支援センター、スーパー、銀行ＡＴＭ、郵便局、病院等があり住民の生活を支えている。

## オール緑ケ丘で取り組む地域の輪



オール緑ケ丘で地域づくり
～各種団体連絡調整会議の様子～
（緑ケ丘地区協議体）

今できることに取り組み
地域を笑顔に！










地域の行事で繋がる笑顔の輪

### 方向性や活動

緑ケ丘地区各種団体連絡調整会議と協議体の趣旨が同様の為、緑ケ丘地区町内会連合会が事務局となり運営する。（写真１）

各種団体、学校、幼稚園に加え地域企業に参加いただくことで地域力の向上を図りたい。

普段より地域の団結力が強く、住宅街ならではの絆を守りながら各町会、団体で情報共有し、切磋琢磨しよりよい地域を作る場にしていきたい。

### 参加者の声

・自分が年をとっても緑ケ丘に住み続けるには協議体の設置は大切だと思った。
・無理なくできることから地域づくりが大切。
・健康で元気な高齢者を募集して地域のパトロールの人員を増やしたい。
　子供たちの見守り隊を増やしたい。
・相手を想う文化（気を遣う文化）を現代風に変化させる必要があると感じた。



写真1



各種団体が協力し、
見守り活動を行った。

地域とつながり、住み慣れた場所で安心して暮らせる地域

# 22 喜久田地区

活動レポート

## 仲間づくり・健康づくりに積極的に取り組み いきいきと輝ける活動



毎週開催される百歳体操！



細かい作業で脳を活性化！



季節を感じられる工作



継続して活発に活動しています



### 方向性や活動

喜久田町では、平成27年度より、住民の方々や医療・保健・福祉等の関係者が集まり、地域住民が安全・安心に生活できるよう地域包括ケア圏域会議として「喜久田町お結び会」が組織された。

平成29年度からは、セーフコミュニティの考え方も含め、地域の課題について話し合いを行ってきた。

令和2年度には協議体が設置され、その趣旨がお結び会と同様であることから、お結び会の場において、地域包括ケア圏域会議及びセーフコミュニティと併せて、協議体の活動についても話し合いを行うこととなった。

### 参加者の声

・若い世代の人々の交流がないためどこの家の人なのかわからない。
・誰も寄せ付けない高齢者が多くなっています。方法があれば知りたい。
・交流の場があっても、そこまでの交通手段がない。
・次の世代の手助けをしてくれる人を探すのも大事。
・コロナで何も出来ませんが、誰でも参加できる行事を企画実行できると良いと思います。



### 取り組み

・既存のサロンに外部講師（森永乳業）を招き、サロンの内容を拡充。

### 【地区の特徴】

広大な水田による豊かな田園地域と区画整理などにより開発された新たな市街地が共存している。

春には、藤田川堀之内橋を中心に両岸2.7kmに渡って、300本以上のソメイヨシノが咲き誇る。

また、国道4号、国道49号、磐越西線（喜久田駅）、さらに東北自動車道郡山インターチェンジ、郡山ジャンクションがあり、交通の利便性に恵まれた地域である。

活動レポート

# ㉓ 富久山地区

## 活発な地域交流の場を活かした支え合いの地域づくり

## 盛んな交流からお互いを見守る思いやりの場



和気あいあいとした雰囲気の中で話し合う地域の気づき



出てきた課題に合わせた活動を行い知識を深める

### 方向性や活動

富久山町は範囲が広い地域のため、小さな単位でエリア分けをした中で協議体の設置を進めていくこととなった。地域の方に協議体の理解を深めながら進めて行く予定である。

各地区で行っているサロンが活発であり地域住民の交流が盛んである。サロンの場を母体として連合会と連携をとり、ゆくゆくは様々な団体に参加してもらいながら活動をしていく。

コロナ禍により活動自粛を余儀なくされている所もあるが、出来る地区から徐々に取り組んでいる。

### 参加者の声

・活動を通して、誰にも相談できないような環境にせず、
　地域住民で協力し合い助け合って良い人生を過ごせるような地域にしたい。
・自分たちの地域を客観的に見ることで各個人が自主的に行っている
　雪かきや草むしりなど、思いやりの活動が多いことを知った。
・町内ごとの違いもあるのでこのような場で情報を知れるのは良い。

### 取り組み

・グループワーク「移動支援について取り組みたいこと」を行い、
　乗合タクシーについて詳しく知りたいという意見が多く集まった。
・乗合タクシーの説明会を開催し、利用方法などの理解を深めた。
・乗合タクシーについてまとめたチラシの作成、協議体で共有



実際の車両をみんなで見学！




### 【地区の特徴】

郡山市の中心部に近く、区画整理が進み人口が増えている。郡山市の中では、比較的若い人が多い。高齢化率は、郡山市の中では低いが、一人暮らし世帯、高齢者世帯が多い地域である。

富久山町には阿武隈川があり、逢瀬川、愛宕川、藤田川などの支流が流れている。令和元年10月の台風19号では、水害により約700世帯が床上浸水などの大きな被害が発生した。

紀元前4000年頃の遺跡が発見されており、古くから人が住んでいた形跡が見られる歴史の古いまちである。

「富久山」の地名は明治9年当時の久保田・福原・八山田の3か村が合併した際に初めて名づけられた。

活動レポート

# 町内会ごとの「互近助支え合いマップ」の作成を通し、顔の見える関係づくりを進め、見守りや・防災に繋げます！



コロナ禍でも「できること」を「できる形」で！

「協議体」や「互近助支え合いマップ」についての趣旨を説明し、生活支援コーディネーター支援の下、町内会ごとの作成を進めていくことを提案しました。



## 方向性や活動

大災害の発生時は、警察や消防などの「公助」には限界があり、近隣住民同士の助け合いが必要である。近所付き合いが希薄な今、まずは「顔の分かる関係づくり」を進めていくことが大切だと考え、そのための手段として地図を囲んだ情報共有を行うための、町内会ごとの「互近助支え合いマップ」の作成を進めている。

## 参加者の声

・町内の方と会って話ができてよかった。
・危険箇所の確認等も行うことができてよかった。
・高齢者のみの世帯の多さにびっくりした。
・空き家問題も身近な問題だと実感した。
・自分の住んでいる地域について、意外と知らないということが分かった。
・まずはお互いを知ることが大事。若い世代や新しく町内会に加入した方も誘って交流の機会を持ちたい。



## 取り組み

・「互近所支え合いマップ」の作成






「互近助支え合いマップ」の作成の様子（御花畑町内会）




地区の年代別人口の推移をグラフにして地域を見える化しました。

御花畑町内会の参加メンバー

・町内会役員　・班長　・民生委員
・女性部　・町内のことをよく知っている方

# ㉔ 大槻地区

「向こう三軒両隣」の精神を見つめ直し、誰かを支え、誰かに支えられる「お互い様の関係」を築いていきます！

## 【地区の特徴】

自然と都市が融合した地域。かつては安積疏水の灌漑による農業が盛んな地域であったが、東西に主要地方道郡山・湖南線、南北には主要地方道郡山・矢吹線の幹線道路が走っており、旧来からの郡山市域に隣接しているため、現在では郡山市街地のベッドタウンとして人口が大幅に増えている。

大槻地区協議体は、大槻中央地区町内会のエリアとし、世帯数約3,300ほどあり43町内会を有する。

# ㉕ 小山田地区

このまちで育ち、
このまちでいつまでも元気に・・・
老若男女みんなで支え合う地域

## 【地区の特徴】

陸上自衛隊郡山駐屯地の北側に位置し、市営住宅を有する地域。

子ども見守り活動をはじめとした、地域活動に取り組む団体が多く存在する。

郡山地区社会福祉協議会小山田支部が行ういきいきサロンでは、今年新たにいきいき百歳体操を取り入れた。コロナ禍ではあるが、万全な感染症対策のもと賑わいをみせている。

活動レポート

## みんなが安心して暮らせる地域を目指し、活躍されている方がたくさんいます！！





活気あふれる
子育てサロン

工夫を凝らした
いきいきサロン



### 方向性や活動

小山田地域の各種団体の代表者11名にお集まりいただき、以下の3つのテーマで情報交換を行った。

1. 団体の日頃の活動
2. 団体の活動を通して分かった地域の現状
3. 現状を踏まえて地域に必要だと思う取り組み

各種団体が協力しあい地域活動をしていくことの重要性が共有された。

今後は、他地区の事例などを取り入れながら、地域住民ができることについて話し合い、取り組んで行く予定。

### 参加者の声

・地域の方が気軽に交流できる場所、機会の創出が必要ではないか。
・隣近所の交流や声掛けが大事である。
・子どもを通して取り組めるイベントを開催してみてはどうか。
・避難時の役割を作り、訓練して備えることも必要。



協議体発足式では、
講話を聞き、活発な意見交換が
行われた。



令和3年11月協議体では、
各種団体の代表者による
情報交換が行われた。

活動レポート

# 各種団体が連携を強化し、より良い地域をつくる活動

【芳賀地区では『芳賀地区各種団体連絡協議会』を協議体と位置付けて活動している】

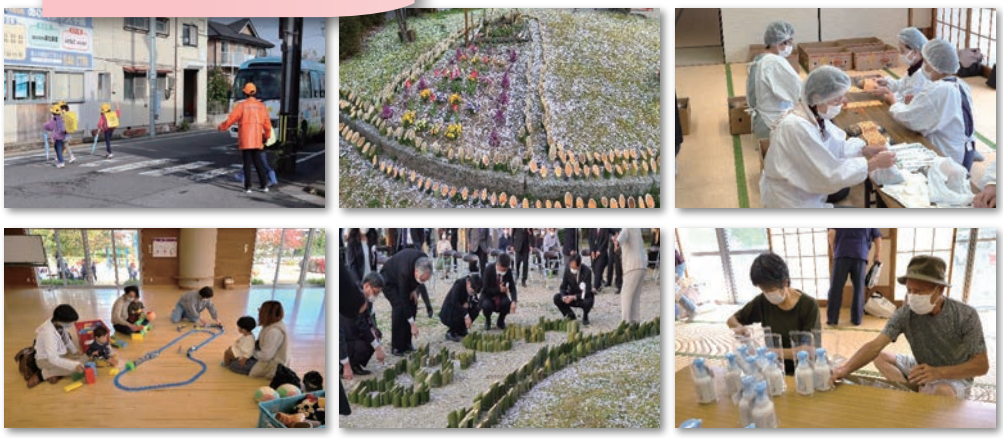
## 定例会を開催し、各団体の情報共有を行っている。



## 芳賀地区 地域支え合い通信の発行



## 地域資源の発掘・取材



## 方向性や活動

・芳賀地区をより良くしていくため、各種団体の活動や取り組み事例の情報共有を行い、団体間の連携・横の繋がりを強化していく。
・芳賀地区各種団体連絡協議会と協議体の目的が同等であるという見解から芳賀地区各種団体連絡協議会の活動に生活支援コーディネーターも協働して活動していく。

## 参加者の声

・（他の町内会の活動事例を聞いて）自分の所でも取り入れていきたい。
・取り組みを情報共有することで、他の地域にも普及し、地域全体が良くなっていくきっかけになるのではないかと感じた。
・事例を聞くことで、身近に起きている問題を知ることができた。

## 取り組み

・町内会や地域団体の取り組み事例を共有。（町内会長や芳賀小学校の校長先生など）
・情報共有の中で得た取り組みで参考にできそうなものは、各自（団体）の活動の中で取り入れていく。



身近な支え合いを地域全体へ

# ㉖ 芳賀地区

## 【地区の特徴】

郡山駅の東方面に位置しており、交通の便が良く、総合病院にも近い。大型の商業施設や飲食店も多く点在しているが、一歩足を伸ばすと閑静な住宅街が広がり、生活利便性の良い地域である。

阿武隈川を中心に、笹原川、逢瀬川、谷田川の一級河川が集中していて、水害対策のための防災訓練等が定期的に実施されている。

活動レポート

# ㉗ 菜根地区

『今何ができるか』地域の横のつながりを深め安心して暮らし続けられる地域へ

## 地域住民同士の支え合い 安心・安全の街づくりを目標に！



住民同士
心通い合う地域へ

地域で支え合って
今できることから
始めよう！









### 方向性や活動

・『菜根ささえあい』(第2層協議体)で菜根地区の住民向け『知って安心認知症教室』を開催し見守り活動の協力をいただいてる方には、サポーターとしてオレンジリングを配付した。高齢者の方には、認知症について正しく理解していただき、住民同士のつながりの大切さや気づきについて学び、「ちょっとした手助けで住み慣れた地域で暮らし続けられる関係性を広めよう！」とつながりを育む活動を進めている。
・若い世代の人達が、参加できるような方法を検討し周知活動も継続的に行っていく。

### 参加者の声

・オレンジカフェ自体も知らない人もいるので、認知症サポーター養成講座を行いオレンジリングを地域に広めていきたい。
・内容もとても分かりやすく楽しかった。
・老人会でも開催できるように検討していきたい。
・クイズ形式で分かりやすく楽しんで参加できた。

### 取り組み

・認知症サポーター養成講座の開催
・地域のサロンの中で、『知って安心認知症教室』の開催







民生委員やサロンの参加者と認知症について勉強しました！



### 【地区の特徴】

荒れた荒野を耕し育てた大根を明治天皇に献上したことから菜根・菜根屋敷という地名になったと言われている。

内環状線や国道49号線も近く交通の利便性が高く、小中高の教育機関も近く、閑静な住宅地でもあり、自然の景観と調和のとれた地域である。

緑豊かな五百渕公園は、野鳥の森と隣接しており地域の憩いの場となっている。

活動レポート

# 地域で支え、励まし合う心のつながり

【芳山地区では『芳山地域連絡協議会』を協議体と位置付けて活動している】



地域の支え合い・
助け合いの輪を広げていく



芳山地域をより良くするための
話し合う場「芳山地域連絡協議会」

## 方向性や活動

都度開催されている「芳山地域連絡協議会」では、町内会連合会を中心に、各種団体が集まり、地域内の活動について報告や地域を良くするための情報交換が行われている。

結果、協議体と同じ目的であることから、「芳山地域連絡協議会」を協議体と位置することとなった。

たすけあい活動(有償ボランティア)の助っ人隊会員を芳山地区でも増やし、住民同士の助け合いを構築していきたい。





現在、助っ人会員として
6名の方が活動中です！

## 参加者の声




・芳山地区は以前より、芳山地域連絡協議会として地域活動の推進強化を進めてきた。芳山地域連絡協議会は地域の活動について報告や情報交換、話し合いをする場であり、協議体もそれと同様な目的であるため、一環として取り入れ、協力して進めていきたい。
・アパートやマンション等の建設が多いため、町内会加入率が低いことが課題だ。

## 取り組み

・町内会ごとに助っ人隊養成講座を開催
（現在1町会実施）




ひとりひとりの笑顔のために
互いに助け合う地域づくり

# ㉘ 芳山地区

## 【地区の特徴】

市の中心部に位置し、13の町内会がある。周りには、図書館などの文教施設や商店街、大型ショッピングセンター、事務所等ビルが多く建ち並んでいる。働く人たちの福祉施設として、郡山市労働福祉会館がある。憩いの場である芳山公園では、朝のラジオ体操の実施会場として、また通勤通学やショッピングの途中に休憩場所として利用される方も多く、活気あふれる街並みとなっている。

# ㉙ 橘地区

いきいきと輝くことのできる地域へ
『地域で支え合い、繋がりを深め』

## 【地区の特徴】

昔から情操教育の一助として、文化・教養・音楽・スポーツへの取り組みが盛んで文武両道の意識が高い地域である。

また、郡山駅からも近く商店街・商業施設・文化センターもあり住宅街と隣接している。地域関係団体も地域づくりに協力的である。郡山市指定重要有形文化財である『石造浮彫阿弥陀三尊塔婆』などの文化財も多く、近隣には荒池公園もあり住民の憩いの場となっている。

活動レポート

## 『地域共生社会』を目指した地域づくり！





住み慣れた地域で安心して
暮らしていくための街づくり



介護予防で住民
同士のつながりを
育み互いに見守り



団体同士の
垣根を超えた
つながりの推進

### 方向性や活動

第３回目の協議体は、『町内会に関わってくれる人を増やしたい！』について話し合いました。

①町内会・地域活動に関わるきっかけは？
②地域活動で今と昔の違いは？
③今関わってくれている若い世代との関係はどのように築けましたか？

についてグループワークを行いました。


回覧をお願いします。橋地域住民の皆様へ
たちばな支え合い通信 NO.2
第1回橋地区協議体が開催されました！
・協議体の方向性について:『担い手』
その他に当日共有した意見

### 参加者の声

①町内会・地域活動に関わるきっかけは？
- 子供の行事がきっかけで。
- 町内会の役員から声がかかり
- 資源回収・クリーンアップ作戦がきっかけで。

②地域活動で今と昔の違いは？
- 共働きで留守宅が多い。
- 店舗と自宅が別(郊外へ住む)。
- 空き家も多く世帯数の減少。
- 単世帯の増加。

③今関わってくれている若い世代との関係はどのように築けましたか？

～成功例～
- 百歳体操で交流が深まった。
- 資源回収
- 回覧板の手渡し

～提案～
- 世代間交流の復活。
- 役員との親睦を図る。
- お祭りを復活させる。
- 親子で参加できるイベントが必要。


回覧をお願いします。橋地域住民の皆様へ
たちばな支え合い通信 NO.3
第2回橋地区協議体が開催されました！
グループワークで当日共有した意見

広報誌「たちばな支え合い通信」を通して、
協議体で話し合ったことを地域で共有！

# 仲良く連携・支え合い繋がり合える地域活動



第2回協議体を開催！




蘆山・池ノ台地区
地域支え合い通信№.２を発行

## 方向性や活動

既存の活動を形にしてより良いものにしていくために『協議体』をスタートした。今後、協議体で情報交換や地域課題を出し、解決するための話し合いを進めていく。

## 参加者の声



・地区の各団体との情報交換の場を設けて定例化したい。その中で、地域の課題を取り出し、解決出来るもの・上にあげるもの等、風通しの良い地区にしたいと思う。
・地域の皆様のご意見で活発な話し合いが出来たので大変有意義でした。
・町内会の方のお話が聞けて良かった。
・自由な話し合いになったが地域の特徴と問題点を知ることができて大変有意義な会議になったと思います。

## 今後、取り組んでみたいこと

・高齢者が買い物をしやすくするための支援
・買い物帰りに休憩できるベンチ等の設置
・地域住民の方とどのように関わっていくのか
・今後の担い手となる若い世代の人との交流




地域の未来を見据え
あるべき地域福祉を目指した
思いやりのある地域

# ㉚ 蘆山・池ノ台地区

## 【地区の特徴】

郡山駅から開成山公園方面に向かい、手前から蘆山地区、池ノ台地区となっている。

市街中心部に位置する図書館や公会堂、２１世紀記念公園や蘆山公園があり、豊かな花・緑・水などを配した市民の憩いの場となっている。蘆山公園は日本の歴史公園100選にも選出されている。

# ㉛ 薫地区

かおを合わせ おたがいさまで 見守る地域

活動レポート

## お互いに寄り添い、さりげなく手を差し伸べる活動



お互いに声掛け合って
深まる絆



伝える・届ける
ふれあい情報発信

### 方向性や活動

地域のいろいろな立場の人たちが連携して、高齢者の地域での生活を見守り支える仕組みができたらいいね!!



### 参加者の声

コロナ禍でも子ども・高齢者の見守りを自粛することなく、それぞれの団体で活動を継続していました。日時や曜日が重ならないように、情報共有をした方がいいよね。

### 事業所の声

・認知症サポーター養成講座や介護予防、健康教室など要望いただければ対応します。
・薬・健康などなんでも相談できる日を設定することも可能です。
・薬局や施設も「あったらいいね」にまぜていただき、地域の「居場所」になれたらと思います。
・薫地域公民館内のスペースに、ポスターや配布物など、地域の方への情報発信の場として掲示することが可能です。

### 取り組み

・薫地域資源マップの作成







社会資源を活用したつながりづくり

各種団体で児童の見守りを行っています。

### 【地区の特徴】

昔、この辺りは鳥がいっぱい飛んできており、中には鶴もいた。江戸時代には二本松藩のお狩り場になっていて、鶴を眺めたり、鶴をとらないようにしていた。鶴が見える丘だから鶴見坦という地名になったと言われている。

薫地域は旧郡山市のほぼ中央部にあり、周辺には開成山公園、麓山公園、酒蓋公園など緑の豊かな地域である。中央部には南北に走る内環状線、東西に走る文化通りがあり、近隣には保育園や小中学校がある閑静な住宅街である。

活動レポート

# 子どもから高齢者まで見守りを！ 安心安全のパトロール



地域づくり（協議体）の説明会を開催



小学生の見守り活動

## 方向性や活動

前回のアンケート結果をもとに、協議体としてまずは高齢者に焦点をあて、地域全体で高齢者の見守りを強化していくことを決定した。その活動として、賛同するものを書面にて調査した。今後は、その結果を協議体のテーマとして進めていく。



## 検討事項

希望ヶ丘地区協議体の今後の活動について

## 結果

以下３つから賛成する取り組みを選んでいただいた。

- **見守りマップの作成**
- **通いの場の普及**
- **認知症の基礎知識を学ぶ**

**多数決の結果、「見守りマップの作成」を希望ヶ丘地区の今後の取り組みとすることに決定した。**

## 参加者の声



・モーニングコールにて安否確認をする。
・高齢者だけでなく全年齢の交流、小さな単位で「ご近所の顔見知り」ができる会があればいい。
・地区ごとに見守りのためのマップを活用しながら適時安否確認に務めている。他組織との連携協力が上手くとれていない状態。
・やりたいことを出し合っても、協力参加する者が少ない今日です。やりたいことが目の前にあっても、伏せてしまいがちです。

**まずは“希望ヶ丘地区協議体設置に向けた説明会”にご参加いただいた各種団体の皆さまで協議体をスタートし、今後協議体を地域に浸透させながら少しずつ枠を広げていきます。**

小さな活動あちこちに 全部合わせて大きな「希望」

# 32 希望ヶ丘地区

## 【地区の特徴】

郡山駅から県道142号河内郡山線（通称：うねめ通り）を西に約5.5km以上、国道4号線をくぐった西側地域、富田町の南端と大槻町の北端に隣接する地点、大徳南、上西田、うねめの3町内と希望ヶ丘団地内9つの町内がある。大徳南、上西田、うねめは住宅地で、希望ヶ丘団地は戦後に引揚者住宅として建てられた古い一戸建て住宅と、その後に建てられた24棟の中高層住宅で構成され、団地内には商業施設、郵便局、保育所、老人ホーム、市児童センターや市立図書館がある。

地区内には、福島地方法務局郡山支局、郡山市医療介護病院、富田地域包括支援センター、銀行、病院、商業施設等、生活上の利便性も良く、人口の集中度も高い。

# ㉝ 金透地区

人と人がつながり支え合う
「我が事」「生きがい」を考え
ふれあいを大切にする地域

## 【地区の特徴】

明治時代に明治天皇が行幸の際、同行した木戸孝允が『陽気の発する処金石亦透精神一到何事不可』という漢詩から『金透』の名前をつけたと言われている。

金透地区は17町内会から成り、他地区とは異なり、全体の環境が特殊である。駅前から旧4号国道を挟み堂前・細沼地域も入り広範囲となっている。

郡山市の中心部に位置し、郡山駅ビルを中心にビッグアイや飲食店のテナントビル・ホテルや総合病院・教育機関等マンションや戸建てが立ち並んでいる。

県内外からの玄関口として通勤・通学他たくさんの人が行きかう町である。郡山駅西口広場や科学館が隣接し、多くの子供達も集う場所となっている。

また如宝寺には、国指定重要文化財が数多く登録されていることで知られている。

活動レポート

## つながる手と手は地域の輪！
## 支え合いで 明日を育む活動



住民同士が、手と手をつなぎ
力をあわせて支え合う

住民主体のできること探し！
思いは、ひとつ！
『高齢者・地域への思い！』




### 方向性や活動





金透地区の各種団体へ周知説明会を開催し、併せてアンケートを実施し、金透地区団体事業所ガイドを制作し地域資源の可視化を行っていくことになった。

金透地区団体・事業所ガイドをきっかけに、社協金透支部と交通安全協会駅前支部の２つの団体による、配食事業と事故防止啓発活動の組み合わせが生まれた。

### 参加者の声

・駅前は、昼住んでいる人と夜住んでいる人が違う、別の住まいから通っている方が多い。
・横のつながりが希薄化している、隣近所にだれが住んでいるかわからない。
・各団体へアンケートを行い、課題や困りごとを吸い上げその中からできることを見つける方がいいと思う。
・細沼方面と駅前方面と共に発展していかなくてはいけない。同じ解釈の中で、できること探しから支援の内容をおさえていくことが望ましい。

### 取り組み

・団体・事業所ガイドの作成
・団体同士のコラボ活動の実施




地域の団体同士の見える化のための
金透地区 団体・事業所ガイド



地域の活動を
こまめに発信！

# 今ある活動に目を向けて、皆で協力しあう地域づくり







**「地域支え合い通信」を地域へ回覧・配付をし発信！**

## 方向性や活動

赤木地区のキーパーソンとなる方（赤木方部町内会連合会や支部社協、民生委員等）へ「協議体と生活支援コーディネーターについて」の説明会や、「第２層協議体設置に向けての打合せ会」を開催し、協議体について理解していただきながら、赤木地区の現状等共有を実施。

自分の住んでいる赤木地区について、「今後も話し合いや情報共有を継続して行っていきたい」とのことで、協議体がスタートした。

## 参加者の声

・それぞれの団体で赤木地区について、困ったことなど話し合いが行われている。
・各種団体が集まり、情報共有していくことは大切である。
・今後も地域の皆さんで協力し合いながら、地域の助け合い・支え合い活動を行っていきたい。
・アパートやマンションなどの建設も多く、町内会に加入しない住民が増えている。→つながりが希薄。
・自然災害や地震、事件など心配がある中、「向こう三軒両隣」「おたがいさま」の気持ちを大切にしていきたい。



(R4.4月)
各種団体の皆様にお集まりいただき、「第２層協議体の設置に向けての打ち合わせ会」を開催。

# 34 赤木地区

お互いさまのきもちを大切にする赤木

## 【地区の特徴】

明治時代まで桑の木が茂り、人家もまばらであった。かつて一帯は阿賀岐山といわれ裾は旧星総合病院の東まで続く自然の地形を利用して造られた古墳であった。その「阿賀岐」が変化して「赤木」になったという。

現代、商工業の発展、交通網の整備、隣接地区への大型店舗等の進出がみられ、赤木・咲田第三・新咲田・桜木一丁目・若葉東・若葉西・田中町自治会・大重の８町内会を包括する赤木方部町内会連合会で構成されている。地域には赤木神社(逢瀬側を望む高台にある古社の境内にある御神木のケヤキは、幹回り5.1m、高さ34mを誇る大樹で在りし日の風格を現在も顕している)などがあり、古い歴史をもつ閑静な地域である。

活動レポート

# ㉟ 富田地区

と・・なり近所が協力しあい
み・・んなが笑顔になるように
た・・すけあいの輪を広げます！

## 今は「あなたのために」、いつか「自分のために」助け合いのバトンをつなぐ町、富田！



たくさんの方が助っ人会員に登録してくれました！

子どもからお年寄りまで、地域全体で見守っています。






### 方向性や活動

地域性も異なり課題も様々なため、区ごとに協議体を設置することが決まり、向舘町内会からスタートすることとなった。

アンケートによる町内のニーズ調査と並行し、住民主体の助け合い活動の土台作りとして「助っ人隊養成講座」を開催した。



### 住民からの声（あったらいいと思う活動）

- 隣近所で助け合う活動
- 簡単な体操、体を動かす体操
- 隣近所とのコミュニケーションの場
- 子どもの安全見守り隊
- 地域の環境美化
- 町内会行事
- 地域の見守り
- 講座開催
- 地域循環バス、乗合タクシー



住民の声から介護予防教室を開催しました！

### 取り組み

- 助っ人隊養成講座の開催
- たすけあい活動利用者の募集
- 困りごとアンケートの実施
- 介護予防教室の開催
- 体操クラブ立ち上げに向けた支援
- 子ども安全見守り隊活動支援、周知

地区の年代別人口の推移をグラフにして地域を見える化しました。

| 町内会名 | 平成20年高齢化率 | 令和4年高齢化率 | 増加分 |
|---|---|---|---|
| 富田町第一区東 | 6.6% | 14.3% | 7.7% |
| 富田町第一区西 | 5.9% | 14.8% | 8.9% |
| 富田町第二区東 | 17.0% | 30.5% | 13.5% |
| 富田町第二区西 | 11.7% | 23.0% | 11.3% |
| 富田町第三区 | 8.1% | 15.7% | 7.6% |
| 富田町第四区 | 16.8% | 24.0% | 7.2% |
| 富田町第五区 | 11.8% | 17.5% | 5.7% |
| 富田町第六区 | 15.7% | 24.0% | 8.3% |
| 日吉ヶ丘 | 26.8% | 37.4% | 10.6% |
| 百合ヶ丘 | 23.7% | 39.1% | 15.4% |
| 富田町向舘 | 14.4% | 25.6% | 11.2% |
| 富田西 | 9.6% | 34.6% | 25.0% |

### 【地区の特徴】

国道49号線、国道4号バイパス、郡山インター線、内環状線などの幹線道路が東西南北に通る交通要衝の町である。近年では土地区画整理事業による住環境及び大型ショッピングセンターの整備や、平成29年に開業したJR磐越西線・郡山富田駅の整備に伴い人口が増加している。

活動レポート

# ～地域の向上とまちづくりを目指して～ 関係機関との協力と連携





**協議体について理解を深めるため説明会を開催**

## 説明会参加者の声

・各町内会や各種団体がまとまり、少しずつ
　行動に繋がっていけるよう協力していきたい。
・有意義な意見交換ができた。
・他地域の協議体の活動紹介について、
　様々な地域の事例を知ることが出来て良かった。



### 大槻東地区で話し合いたい内容や課題に感じていること

・高齢者の支援、見守りの強化
・認知症施策について、通いの場について
・交通手段（病院や買い物等）・・・など

### すでに行っている取り組みやこれから取り組めること

・高齢者の安否確認
・町内会役員が高齢者世帯へ
　お茶をお届けし近況の把握を行う。
・子ども達の通学時の安全対策
・町内会等による見回りパトロール
・あいさつ運動
・除雪支援

※説明会でのアンケート結果より一部抜粋



「つどう」「はなしあう」「むすぶ」
未来へつなぐ地域づくり

# ㊱ 大槻東地区

## 【地区の特徴】

郡山市の南西部・大槻町の南東部に位置し、昭和63年に開校した朝日が丘小学校の通学区域が主な範囲である。

明治6年に大槻原開墾が始まり、15年に安積疏水が完成したことにより、農業用水が確保され、米作を中心とする純農村として発展を続けてきた。

この大槻東地区は室ノ木・御前東・御前南5丁目・南静・清水内・太田・原田第一・原田（独自で協議体設置）などの町内会で構成され、町内会に加入している世帯数は1740世帯を超えている。

区画整理事業に伴い宅地が増えて住居の新築が進み、人口も増加している。




「郡山市の協議体」

発　行　令和５年３月
発行者　郡山市
郡山市生活支援コーディネーター
（社会福祉法人郡山市社会福祉協議会）

〒963－8024　福島県郡山市朝日１丁目 29 番９号
郡山市総合福祉センター内

TEL 024–932–5311　FAX 024–932–6768
E-mail　k-shakyo-f@violin.ocn.ne.jp
ホームページ　https://koriyama-shakyo.jp/

ホーム
ページ